科目名	資金決済法Ｂ　　Payment Services Law B						
科目担当者	松野 民雄　　MATSUNO Tamio						
単位数	２	配当年次	３年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	この授業では、金銭債務の支払決済手段についての講義を行います。具体的には、「銀行振り込み」と「キャッスレス決済」（クレジット・カード、デビット・カード、電子マネー、コード決済、仮想通貨）について、基本的な仕組み・法的内容を理解してもらうように、具体例を挙げながら講義を行います。 この授業では、「銀行振り込み」と「キャッスレス決済」に関する基礎的な法律知識を修得するために行います。						
授業の到達目標	①　銀行振り込み・キャッスレス決済の基本的な枠組みを理解することができている。 ②　銀行振り込み・キャッスレス決済に関する法律内容を理解できている。 ③　銀行振り込み・キャッスレス決済に関する法律問題について、法的に的確な判断をすることの基礎ができている。						

授業計画・内容		
	1	イントロダクションと支払決済手段の総論
	2	銀行取引における決済１（銀行取引の基本的仕組み）
	3	銀行取引における決済２（銀行振り込みの法律関係）
	4	銀行取引における決済３（犯罪収益の移転の防止）
	5	キャッシュレス決済の種類・内容
	6	クレジット・カードによる決済~~２~~ １（クレジット・カードの種類・内容）
	7	クレジット・カードによる決済~~３~~ ２（クレジット・カードによる決済の仕組み、法律関係）
	8	デビット・カードによる決済（決済の仕組み、法律関係）
	9	資金決済法の概要
	10	電子マネーによる決済~~２~~（決済の仕組み、法律関係）
	11	コード決済１（コード決済の種類・内容）
	12	コード決済２（コード決済の仕組み、法律関係）
	13	仮想通貨による決済１（仮想通貨の種類・内容）
	14	仮想通貨による決済２（仮想通貨による決済の仕組み、法律関係）
	15	キャッスレス決済のまとめ

授業外学修 (事前学修)	事前の学修としては、2 時間程度、指定教科書の該当部分を読んでおくことが望ましい。その際、必ず、関連条文を「六法」で確認しておくこと、
授業外学修 (事後学修)	事後の学修としては、2 時間程度、授業の内容を振り返るとともに、教科書の該当箇所を再度確認しながら、授業内容の知識を確実なものにしておくこと。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	授業への出席(3 分の 2 以上)が当然の前提となる。 ①　受講態度・授業への取り組み姿勢（30%） ②　定期試験の結果（70%） ※本年度後期，民法・商法が試験科目となっている国家試験、公務員試験または検定試験に合格した者については，特例措置あり。	①　３０％ ②　７０％	①　②　③ ①　②　③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	松嶋隆弘=大久保拓也著『商事法講義 3 支払決済法』（中央経済社、2020 年）
参考文献	適宜、授業時に指示する。
その他	併せて、「資金決済法 A」、「債権法総論Ⅰ」、「債権法総論Ⅱ」、「商法総則・商行為法」を受講することが望ましい。